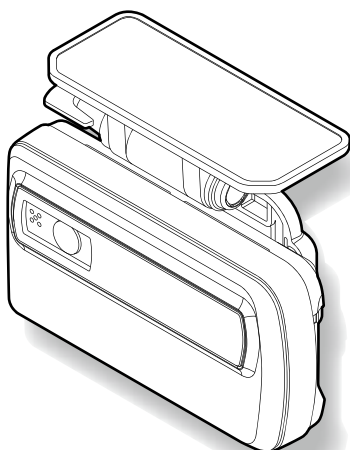




この度は本製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書には取付け及び操作手順が説明されております。正しくご使用いただく為に本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。尚、読み終えた後、いつでも見られるよう大切に保管してください。

本書の見かた

⇒ PXX	参照先を記載しています。(XX はページ)
 アドバイス	本製品に関する補足情報を説明しています。
<u>長押し</u>	スイッチを 3 秒程度長めに押すことを示しています。

⚠ 注意

本製品は記録した映像を再生する際に、テレビやナビのビデオ入力端子に接続して確認します。そのため、テレビやナビにビデオ入力端子がないと接続することができません。

目次

目次	2	記録した映像を見る	27
ご使用上の注意	3	本体とテレビを接続する	27
		映像を再生する	29
各部の名称	6	設定	33
本体	6	設定方法	33
付属品	7	撮影モードの設定	35
取付け方法	8	設定・映像データを消去する (オールクリア)	35
取付手順を確認する	8	付録	36
電源コードを取付ける	9	バックアップチェック機能	36
内蔵バッテリーを取付ける	11	こんなときは?	37
取付け位置を確認する	12	エラー確認表	38
本体を取付ける	13	音声、POWER / ERROR ランプ 確認表	39
基本操作	21	製品仕様	40
映像を記録する	21	保証規定	43
電源を ON にする	22	DC-DR200 保証書	裏面
電源を OFF にする	22		
動作を確認する	23		
バッテリー異常を修復する	25		

ご使用上の注意

ご使用の前に、この「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また注意事項は誤った取扱いをした時に生じる危害や損害の程度を、「警告」と「注意」の2つに区分して、説明しています。

⚠ 警告 警告を無視した取扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う原因となります。

⚠ 注意 注意を無視した取扱いをすると、使用者が障害や物的損害を被る可能性があります。

⚠ 警告

- 本製品を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 運転者は走行中に本製品を絶対に操作しないでください。同乗者の方が操作を行ってください。
- 本製品は、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。また、自動車の機能（エアバッグ等）の妨げにならない場所に取付けてください。事故や怪我の原因となります。
- 本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車の故障の原因となります。
- 本製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本製品を医療機器の近くで使用しないでください。医療機器に影響を与える恐れがあります。

付属 AC アダプターについて

- 指定の電圧（AC100V～240V）で使用してください。指定以外の電圧で使用すると、火災や故障の原因となります。
- 濡れた手で抜差しを行わないでください。感電・故障の原因となります。
- プラグをショートさせないでください。火災・故障・感電・傷害の原因となります。
- 長時間使用しない場合は、プラグをコンセントから抜いてください。感電・火災・故障の原因となります。
- プラグについたホコリは、ふき取ってご使用ください。火災の原因となります。

ご使用上の注意

注意

- ルームミラー裏側への取付けは、道路運送車両法に基づく保安基準により設置場所が限定されています。運転者の視界の妨げにならないようにフロントガラス上部（ルームミラー裏側）へ設置してください。（⇒P13）
- 本製品を取付ける際は、取付け面の汚れをきれいに拭き取ってから取付けしてください。汚れなどがある場合、走行時の振動などで本製品が外れるおそれがあります。
- 取付けネジの緩み、両面テープの剥がれなどないか定期的に点検をおこなってください。運転の妨げや事故の原因となることがあります。
- LED 式信号機は LED が高速で点滅している為、信号機が点滅しているような映像が記録される場合があります。また逆光や信号機自体の輝度が低い等により、信号機の色が識別できない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。信号機の件について弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品は電子部品を使用した精密機器のため、落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 本体の通気孔を塞いだり、物を入れないでください。故障の原因となります。
- コード等の配線時は車両金属部とのショートに気をつけてください。故障の原因となります。
- 本製品をイタズラなどの目的で使用しないでください。個人情報保護法に抵触する恐れがあります。また使用方法によりプライバシーなどの権利を侵害するおそれがありますのでご注意ください。これらの場合について、弊社は一切の責任を負いかねます。
- AC アダプターのプラグをコンセントから抜く場合は、コードを引っ張らず、AC アダプターの本体を持って抜いてください。
- 本製品にはお買い上げの日から 1 年間の製品保証がついています。（但し内蔵バッテリー、両面テープ等の消耗品は保証の対象となりません。）
- 部品の交換修理、パーツ購入に関しましては販売店にお問い合わせください。
- 本製品は DC12/24V 車専用です。
- 本製品は日本国内でのみ使用できます。海外では使用できません。
- 本製品の故障による代替品の貸出は弊社では一切行っておりません。
- 本製品の仕様及び外観は改良の為、予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

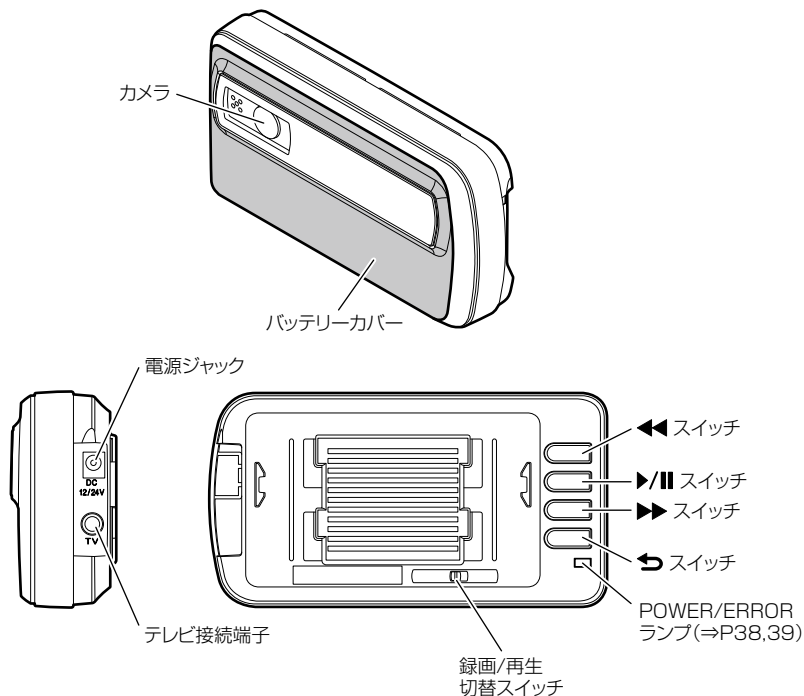
万一の事故発生時に映像が記録されていなかったり、記録した映像が破損した場合など、本製品の作動有無にかかわらず一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

⚠ 使用上のお願い

- フロントガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより記録した映像が見づらくなることがありますので、ワイパーの可動範囲に本製品を取付けしてください。
- 太陽などの高輝度の映像を記録すると、太陽が黒い点のように映ることがありますが製品の異常ではありません。
- 本製品は、全ての映像を記録することを保証するものではありませんのでご注意ください。
- 本製品の近くに GPS 機能を持つ製品や VICS 受信機を設置しないでください。誤作動を起こす可能性があります。
- テレビアンテナ（地デジ含む）の近くには設置しないでください。テレビの受信感度の低下・チラツキ・ノイズの原因となる可能性があります。
- 真夏などの炎天下の中では製品が正常に作動しないことがあります。特に夏場は車内が高温になることがありますので、窓を開け車内の温度を下げてからご使用ください。
- 本製品で記録した映像を確認・設定する為にはテレビに接続する必要があります。
- 定期的に製品の日時を確認してください。日時がずれている場合は P33,P34 を参照し日時の設定を行ってください。
- 内蔵バッテリーの寿命は約 2 ～ 3 年が目安となりますが、使用状況により内蔵バッテリーの寿命が短くなることがあります。
- 定期的にバックアップチェック機能を使用し、正常に作動するか確認してください。正常に作動しない場合は内蔵バッテリーの充電または交換を行ってください。
- キーを OFF にした時シガープラグの電源が 0V にならない車両（外車など）は、別売オプションのシガープラグコードの使用はできません。必ず付属の電源コードでイグニッション電源に直接接続してください。
- 本製品は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取扱いをすると本体のデータが破損する恐れがあります。
 - ・ 本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。
 - ・ 本体を水にぬらしたり、強い衝撃を与えた場合。
 - ・ 長期間使用しなかった場合。
 - ・ バッテリーを接続せずに使用したり、消耗した内蔵バッテリーを使用し続けた場合。

各部の名称

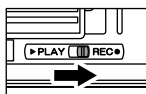
本体



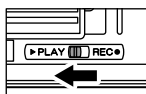
アドバイス

録画 / 再生スイッチについて

・映像を録画する際は必ず、録画 / 再生スイッチを『**REC**』に切替えてください。

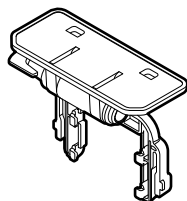


・映像を再生する際は必ず、録画 / 再生スイッチを『**PLAY**』に切替えてください。



付属品

ステー (1 個)



※出荷時本体に
セットされています。

バッテリー (1 個)



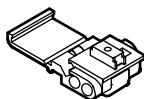
電源コード (1 本)
(約 5m/1A ヒューズ内蔵)



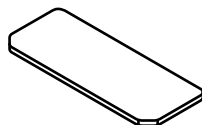
コードクランプ (5 個)



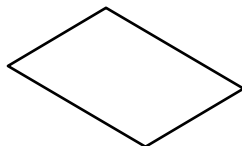
エレクトロタップ (1 個)



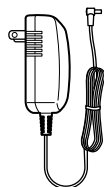
ステー固定用
両面テープ (1 枚)



脱脂クリーナー (1 枚)



AC アダプター (1 個)
(約 1.5m/DC12V 500mA)



映像ケーブル (1 本)
(約 2m)

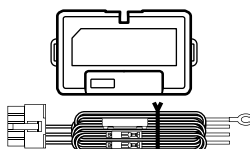


別売オプション

アイセーフ専用
シガープラグコード
(約 3 m)



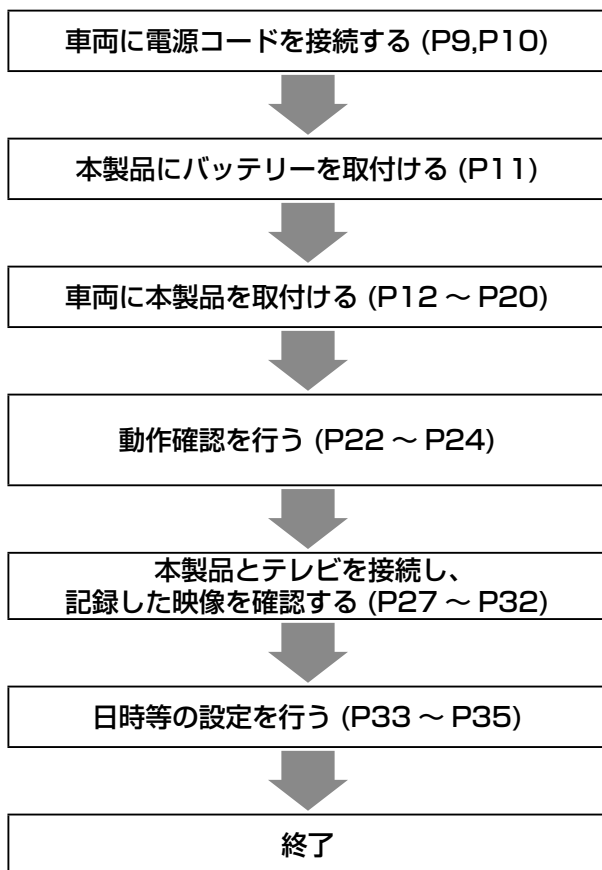
車両情報ユニット
DROP-002



取付け方法

取付手順を確認する

下記手順に従い、取付けを行ってください。

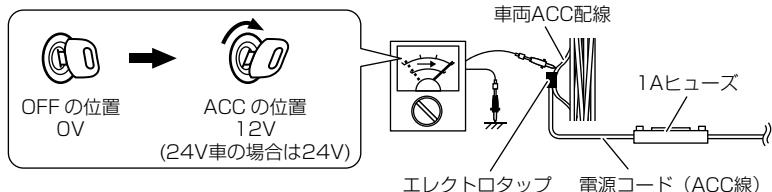


電源コードを取付ける

ACC 線を接続する

付属電源コードの ACC 線をイグニッションキーが ACC 位置で電圧が 12V (24V 車の場合は 24V)、OFF の位置で必ず 0V になる車両の配線に付属のエレクトロタップで接続します。

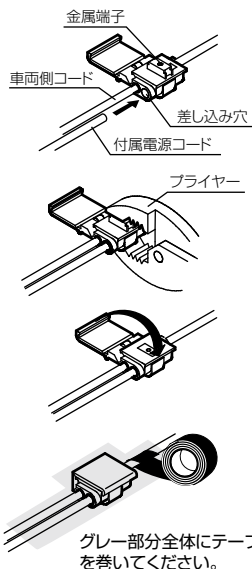
※ OFF の位置で電圧が 0V にならない車両はイグニッション電源へ接続してください。



アドバイス

エレクトロタップを使った接続方法

- 1) 車両側コードをエレクトロタップ側面よりはめ込み、付属電源コードは差し込み穴からストッパーまで深く挿入します。
- 2) プライヤー等で金属端子を完全に押込みます。
- 3) カバーを矢印の方向に倒し、ロックします。
- 4) 最後に市販の絶縁テープを巻いて接続部を保護する



取付け方法

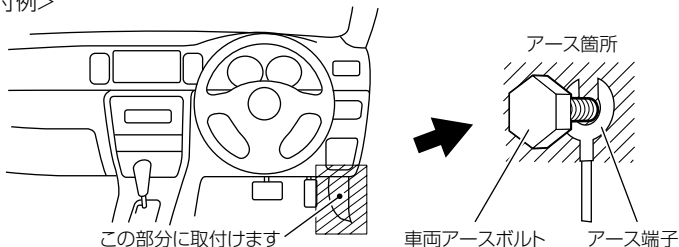
アース線を接続する

付属電源コードのアース端子を車両アースボルトへ確実に共締めしてください。

⚠ 注意

アース端子とフレームの間に樹脂・塗装等があると確実なアースが取れません。そのような場所へアース端子を取付けると動作が不安定になることがあります。

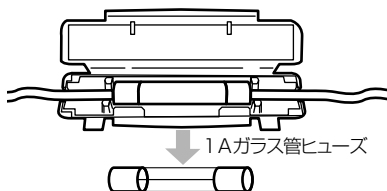
<取付例>



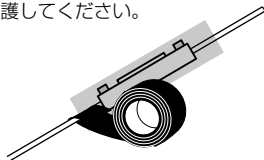
👉 アドバイス

ヒューズ交換方法

電源コードのヒューズホルダのキャップを開け、同じ容量、サイズガラス管ヒューズ (1A) と交換してください。また、初回取付け時やヒューズを交換した後は必ず絶縁テープでヒューズホルダーを保護してください。



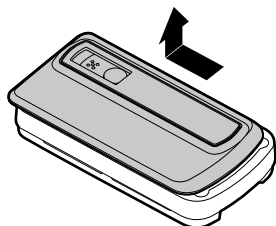
初回取付け時またはヒューズ交換後、絶縁テープでヒューズホルダーを保護してください。



内蔵バッテリーを取付ける

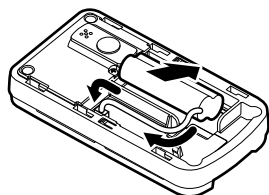
本製品を使用する前に、付属バッテリーをメインユニットに取付けてください。

- 1) 本製品のバッテリーカバーを矢印の方向へスライドさせて外してください。

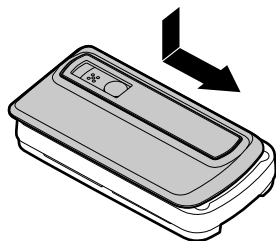


- 2) 右図のようにケーブルを取回し、バッテリーコネクタを接続してケース内にバッテリーを入れてください。

※防音用のスポンジに押当てながらバッテリーを入れてください。



- 3) バッテリーカバーを矢印の方向へスライドさせて取付けてください。



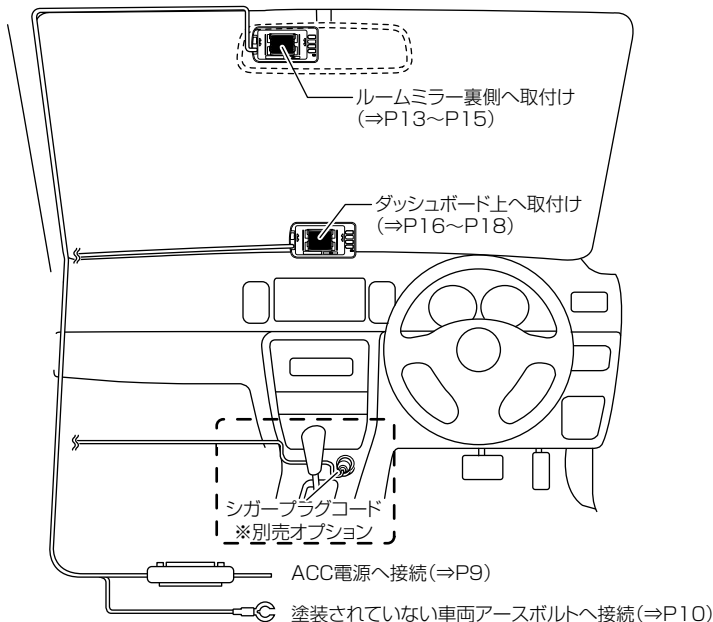
⚠ 注意

- コネクタには極性がありますのでコネクタの凹凸に合わせてください。
- 内蔵バッテリーの寿命は約2～3年が目安となりますが、使用状況により内蔵バッテリーの寿命が短くなることがあります。
- 定期的にバックアップチェック機能(⇒ P36)を使用し、正常に作動するか確認してください。正常に作動しない場合は内蔵バッテリーの充電または交換を行ってください。
- 専用バッテリーの購入に関しましては、販売店にてご注文ください。
- 本製品は専用バッテリーを使用しているため、それ以外のバッテリーは使用しないでください。故障の原因となります。

取付け方法

取付け位置を確認する

本製品はルームミラー裏側またはダッシュボード上に取付けることができます。取付け位置についての注意事項等は各取付けページを参照ください。



⚠ 注意

- ・付属のクリーナーで貼付け面の汚れ（油分・水滴など）をキレイにし、乾いてから取付けを行ってください。
- ・気温が低い場合、両面テープの粘着が弱くなります。ドライヤーなどで粘着面を暖めてから貼付けをしてください。また、製品に直接ドライヤーの熱が当たらないよう注意してください。
- ・一度貼付けた両面テープは粘着力が弱くなりますので再使用しないでください。
- ・取付け後両面テープがしっかり貼付くまで引っ張ったり無理な力を掛けないように注意してください。外れる原因となります。
- ・ステア角度調整ネジを強く締めすぎると破損する恐れがありますのでご注意ください。
- ・車両のフロントガラスや本製品のカメラ部分に汚れがあると、十分な映像が記録できない可能性があります。

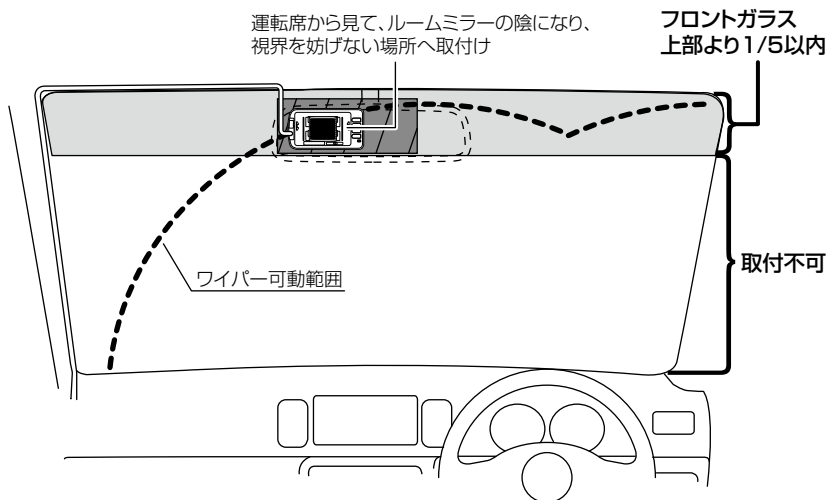
本体を取付ける

ルームミラー裏側へ取付ける

⚠ 注意

- ・ルームミラー裏側への取付けは、道路運送車両法に基づく保安基準により設置場所が限定されています。運転者の視界の妨げにならないように、フロントガラス上部より1/5以内のルームミラー裏側へ設置してください。その際ミラーと干渉しない位置に取付けしてください。
- ・ワイパーの可動範囲に本製品を取付けることをおすすめします。範囲外に取付けるとフロントガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより記録した映像が見づらくなることがあります。
- ・地デジ等テレビのアンテナ近くには設置しないでください。
- ・本製品の近くに GPS 機能を持つ製品や VICS 受信機を設置しないでください。誤作動を起こす可能性があります。
- ・本製品を車検シールの上に貼らないでください。

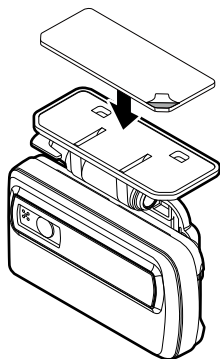
※ミラー裏へ取付ける場合、 の範囲ヘドライブレコーダーを取付けてください。



取付け方法

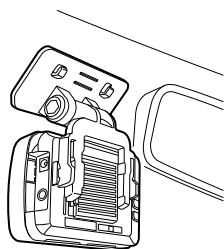
- 1) ステーに両面テープを貼ります。

※仮止めし、撮影映像を確認することをお勧めします。



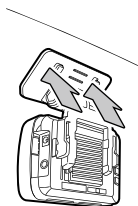
- 2) フロントガラスを付属のクリーナーでキレイにし、乾いた後、本製品が水平になるようにステーをフロントガラスへ貼付けます。

※必ず付属のクリーナーを使用してください。
市販のクリーナー等を使用した場合、成分によっては剥がれる場合があります。

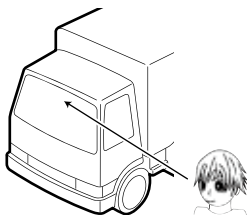


アドバイス

貼付面裏側のステー部を手でしっかり押さえて貼付けムラが無いようにしてください。また貼付後に、車外から貼付面にムラがない事を確認してください。



ステー貼付け面を裏側から押さえる



車外から貼付面にムラがない事を確認する

◇ステー貼付け面



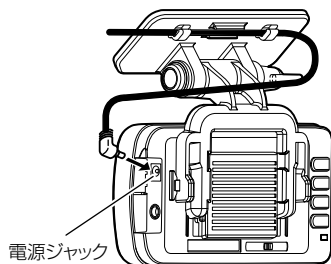
全体に貼付いている



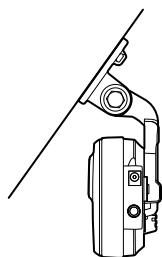
浮き箇所がある

- 3) 電源コードを接続し、配線の取回しを行ってください。

※運転の妨げにならないように、付属のコードクランプを使用し、配線の取回しを行ってください。



- 4) ステアの角度調整ネジを緩め、フロントガラスに合わせ、本体が垂直になるように調整します。



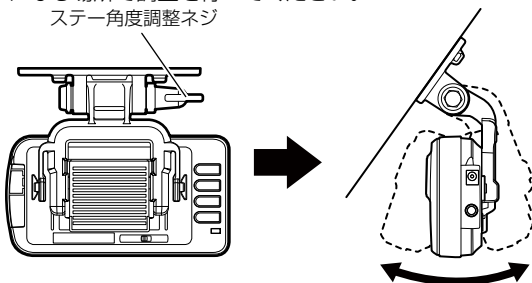
👉 アドバイス

角度調整方法

ステアの角度調整ネジを緩めた後、本体を揺らすことで道路に対して垂直になります。その後、角度調整ネジを締めてください。

※ 車両が水平になる場所で調整を行ってください。

ステア角度調整ネジ



記録した映像が暗い場合

本製品を少し下向きになる（記録映像内の道路水平線が少し上にくる）ように角度を調整してください。

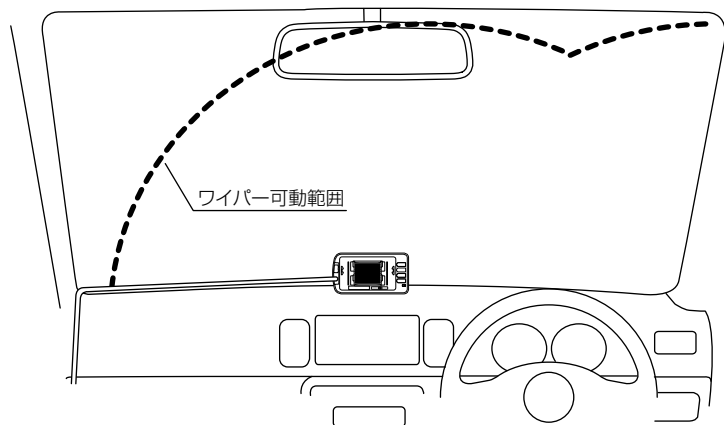
取付け方法

ダッシュボードへ取付ける

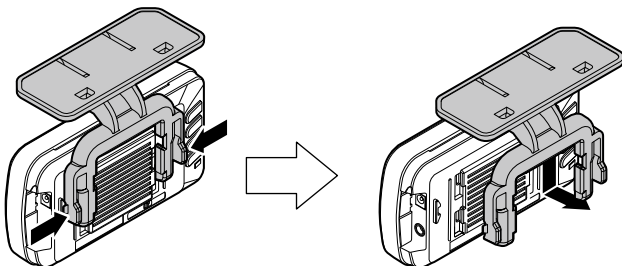
本製品は出荷時、ルームミラー裏側に取付けできるようにステーがセットされています。ダッシュボードへ取付ける際は、ステーの取付方向を変更してください。

⚠ 注意

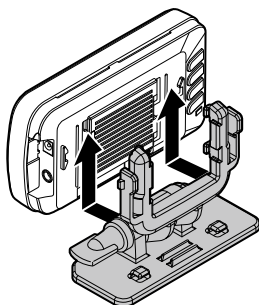
- ・ダッシュボード上へ取付ける場合は、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。また、自動車の機能（エアバッグ等）の妨げにならない場所に取付けてください。事故や怪我の原因となります。
- ・ワイパーの可動範囲に本製品を取付けることをおすすめします。範囲外に取付けるとフロントガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより記録した映像が見づらくなることがあります。



1) ステーのロックを押しながらスライドさせ、ステーを取外します。

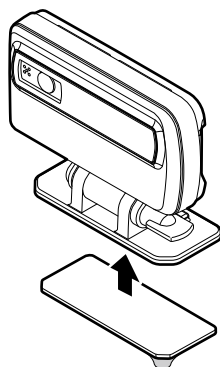


- 2) ステアの向きを変え、下から上へスライドさせ取付けます。



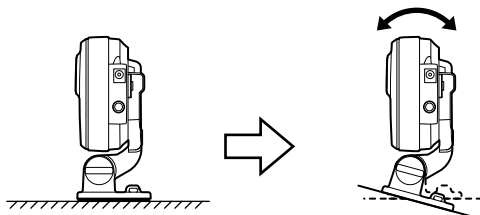
- 3) ステアに両面テープを貼ります。

※仮止めし、撮影映像を確認することをお勧めします。



- 4) ダッシュボードを付属のクリーナーでキレイにし、乾いた後、本製品を固定します。ステアの角度調整ネジを緩め、本製品が道路と水平になるように角度を調整します。

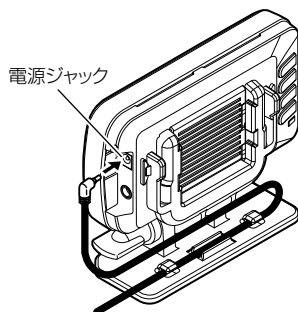
※ダッシュボードの形状や素材によっては貼付きにくい場合があります。そのような場合、ミラー裏側フロントガラスへ取付けを行ってください。



取付け方法

- 5) 電源コードを接続し、配線の取回しを行ってください。

※運転の妨げにならないように、付属のコードクランプを使用し、配線の取回しを行ってください。

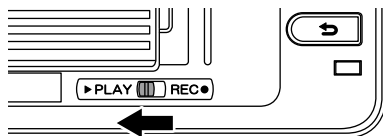


👉 アドバイス

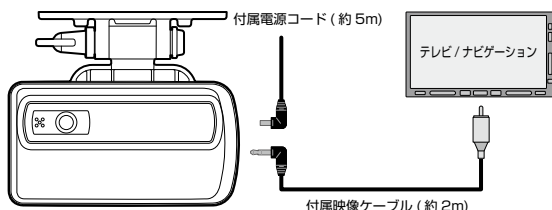
車内で映像を確認する

車両のテレビまたはナビゲーションにビデオ入力端子が付いている場合、実際に撮影する映像を画面に表示しながら確認することができます。

- 1) 本製品の録画 / 再生切替スイッチを **【PLAY】** に切替えます。

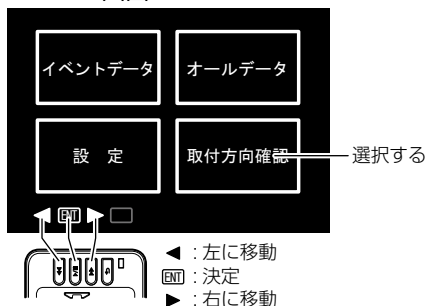


- 2) 本製品とテレビまたはナビゲーションを付属の映像ケーブルで接続します。



- 3) 起動後メニュー画面が表示されたら、**【◀◀】** スイッチまたは **【▶▶】** スイッチで **【取付方向確認】** を選択し、**【▶/||】** スイッチを押してください。

メニュー画面



次ページへ

取付け方法

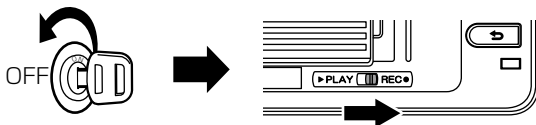
👉 アドバイス

- 4) 画面に表示される十字の線を目安に道路の水平線が、画面の中央～中央より少し上に合うようにステーの角度を調整してください。

取付方向確認画面



- 5) 調整後、ステーの角度調整ネジ等に緩みが無いことを確認し、電源を OFF にします。その後録画 / 再生切替スイッチを **【REC】** に切替え、ご使用ください。



※ 4つのスイッチのどれか1つを押すことでメニュー画面に戻ることができます。

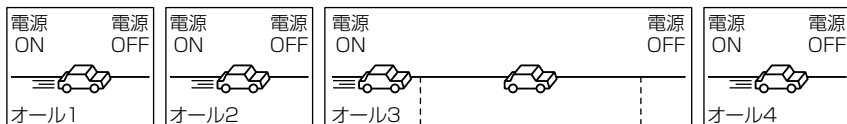
基本操作

映像を記録する

本製品は電源を ON にした後、LED が緑点灯した時点から映像の記録を開始し、電源を OFF にするまで記録を続けます。

通常は ON から OFF までで一つの映像データ（オールデータ）になりますが、本体のスイッチを押した時（⇒ P23）は、スイッチ操作した時点の前後約 30 秒間を、通常とは別の映像データ（イベントデータ）として保存します。

再生時、『オールデータ』で表示される内容



再生時、『イベントデータ』で表示される内容



👉 アドバイス

- ・内部メモリの容量がいっぱいになると、古いデータから上書きして新しいデータを記録します。
- ・スイッチ操作により記録された映像データ（イベントデータ）は 10 件まで保存できます。
- ・起動直後は記録前の映像が無いため、スイッチ操作を行っても、記録時間の短い（1 分未満）映像が記録されることがありますが故障ではありません。
- ・スイッチ操作による映像データ（イベントデータ）の保存中は、スイッチ操作をしても、新しいイベントデータを記録することはできません。
- ・POWER/ERROR ランプが橙点滅している場合は、映像を記録することはできません。エラーを確認してください。（⇒ P38）

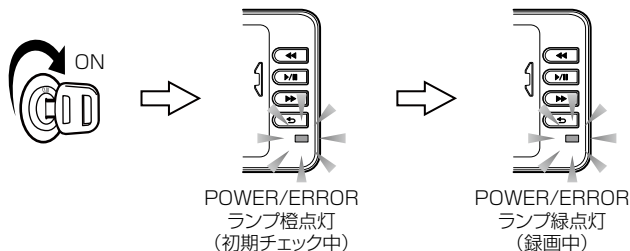
⚠ 注意

- ・LED 式信号機を撮影すると、信号が点滅したような映像が記録されますが異常ではありません。これは LED 式信号機との同期対策のためで、記録映像において信号機の状態を確認できるようにしたものです。
- ・光や信号機自体の輝度が低い等により、信号機の色が識別できない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。

基本操作

電源を ON にする

キーを ON まで回し、エンジンを始動してください。



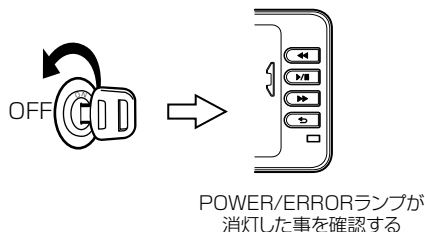
※ 内蔵バッテリーの充電が不十分な時や内蔵バッテリーを未接続で使用した時に「内蔵バッテリー異常」のエラー(⇒ P38) が出ることがありますが異常ではありません。その際は「内蔵バッテリー異常」の修復を行ってください。(⇒ P25)

👉 アドバイス

電源 ON してから最大記録時間を超える映像データを記録することができません。超えた場合は『長時間連続動作異常』のエラーが出ます。その際は本製品を再起動させてください。(その後古いデータから上書きされていきます)

電源を OFF にする

キーを OFF に回してください。

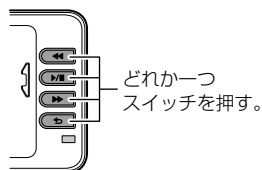


動作を確認する

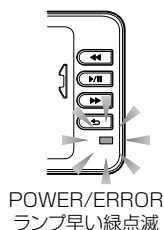
1. スイッチ操作での記録を確認する

- 1) POWER/ERROR ランプが緑点灯している時
(録画中) にスイッチを押してください。

※ 4 つのスイッチのどれを押しても記録できます。



- 2) POWER/ERROR ランプが早い緑点滅を始め、
スイッチを押した前後約 30 秒間の映像データ
を保存します。



2. 記録した映像を確認する

テレビに接続し、記録した映像を確認してください。
テレビへの接続方法、映像の確認方法は『記録した映像を見る (⇒ P27 ~ P32)』を参照ください。

《確認内容》

- ・『オールデータ』内に電源 ON から電源 OFF までの映像が正常に記録されている事
- ・『イベントデータ』内にスイッチ操作で記録した映像が正常に記録されている事

基本操作

3. 日時等の設定を行う

設定画面から日時等の設定を行ってください。

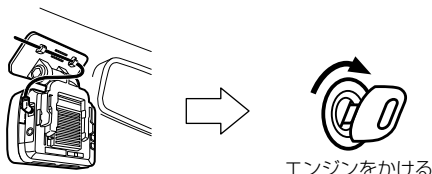
設定方法は『設定 (⇒ P33,P34)』を参照ください。

※ 日時の設定を行わないと、起動時に『時刻未設定』のエラーが出ます。

4. 内蔵バッテリーの充電を行う

再度車両へ取付けたあと、エンジンをかけて内蔵バッテリーの充電を行ってください。

※ 取付け後、内蔵バッテリーの充電が不十分な間は「内蔵バッテリー異常」のエラーが出ることがありますが故障ではありません。その際は「内蔵バッテリー異常」の修復または消去を行い (⇒ P25,26)、内蔵バッテリーの充電を行ってください。



👉 アドバイス

- ・商品出荷時には検査予備充電しかされていませんので、長期間充電しない状態が続くと内蔵バッテリーが自然放電している場合があります。初めてご使用になる時は 8 時間程度の充電が必要です。
- ・充電を断続的に行う場合は、目安として 1 日 1 時間程度の走行で約 1 週間で満充電となります。
- ・付属の AC アダプターを使用することで、家庭用コンセントで充電することもできます。その際は録画 / 再生切替スイッチを **[PLAY]** に切替え充電を行ってください。

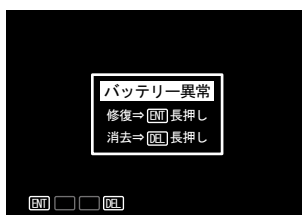
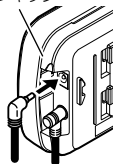
バッテリー異常を修復する

内蔵バッテリーの充電が不十分な時や内蔵バッテリーを未接続で使用した時に『内蔵バッテリー異常』のエラーが出ます。その際は下記手順に従って修復を行ってください。

- 1) 本体をテレビと接続し電源を入れると、バッテリー異常の画面が表示されますので、修復するか、消去するか選択してください。

※録画 / 再生スイッチは【REC】、【PLAY】どちらでも修復を行います。

電源ジャック



修復する⇒2)へ
映像データを残したまま
修復する

消去する⇒4)へ
映像データを消去し
修復する

《修復する場合》

- 2) 【◀◀】スイッチを**長押し**すると、エラーのみの修復を開始します。



◀◀スイッチを
長押しする



⚠ 注意

- ・記録された映像データの容量によって修復に時間がかかることがあります。
- ・修復中に電源を切ると故障の原因となります。

- 3) エラーの修復が終わると、修復完了画面が表示されます。電源を切るか、【◀◀】スイッチを押して再起動してください。



基本操作

《消去する場合》

- 4) 【↵】スイッチを**長押し**すると確認画面が表示されますので、記録した映像データを消去しても良ければ【◀◀】スイッチを押して、エラーの修復を行ってください。



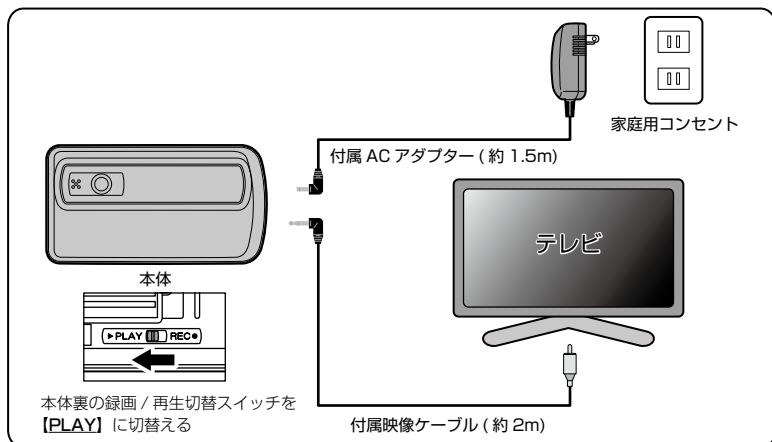
⚠ 注意

『内蔵バッテリー異常』のエラーを修復し、満充電（⇒ P24）後、バックアップチェック機能（⇒ P36）を行い、正常に作動するか確認してください。正常に作動しない場合は内蔵バッテリーの交換を行ってください。

記録した映像を見る

本体とテレビを接続する

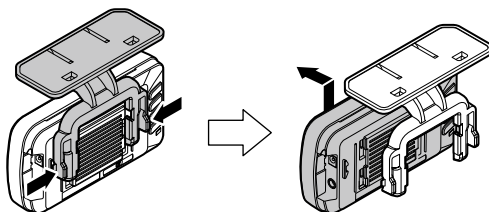
テレビへの接続概要図



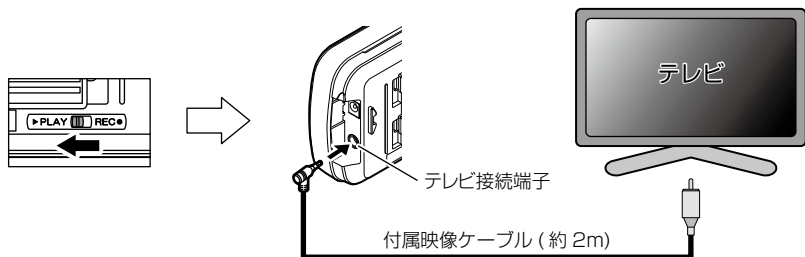
接続方法

- 1) 本製品をステーのロックを押しながら、本体を下から上へスライドさせ取外します。

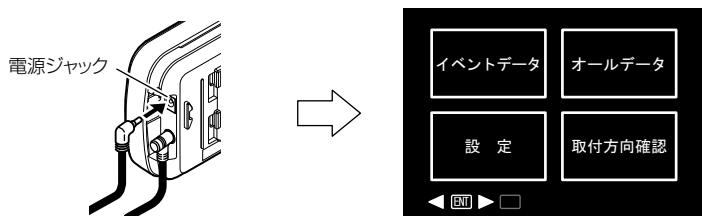
《ミラー裏に取付けた場合》



- 2) 録画 / 再生スイッチを **【PLAY】** に切替え、付属の映像ケーブルで本製品とテレビを接続します。



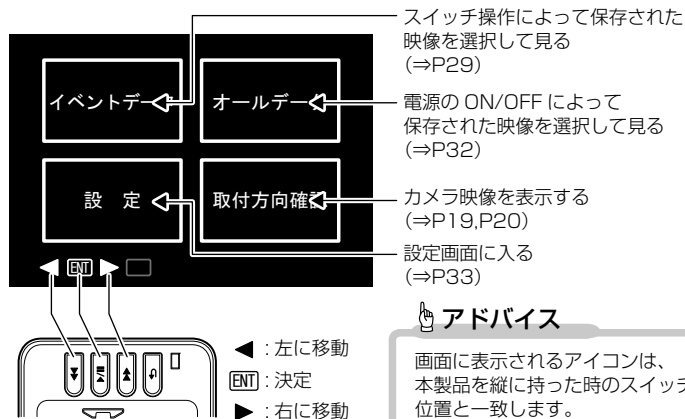
- 3) 付属の AC アダプターを接続し、電源を入れるとメニュー画面が表示されます。



映像を再生する

本体の録画 / 再生スイッチを【PLAY】に切替え、本体とテレビを接続し、電源を入れるとメニュー画面が表示されます。

《メニュー画面》

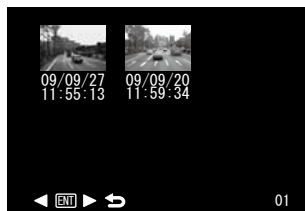
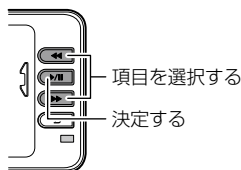


アドバイス

画面に表示されるアイコンは、本製品を縦に持った時のスイッチの位置と一致します。

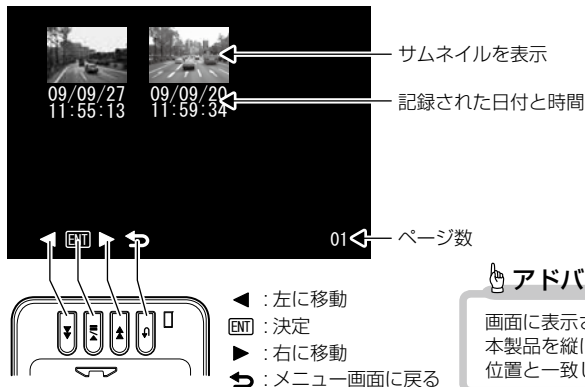
スイッチ操作によって保存した映像を見る (イベントデータ)

- 1) メニュー画面で【◀◀】スイッチまたは【▶▶】スイッチで『イベントデータ』を選択し、【▶/||】スイッチを押すと、スイッチ操作によって保存された映像が一覧で表示されます。



記録した映像を見る

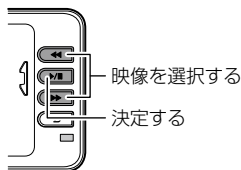
《選択画面》



アドバイス

画面に表示されるアイコンは、本製品を縦に持った時のスイッチの位置と一致します。

- 2) 【◀◀】スイッチまたは【▶▶】スイッチで再生したい映像を選択し、【▶/||】スイッチを押すと、再生画面が表示されます。



- 3) 再生画面が表示された後、【▶/||】スイッチを押すと映像が再生されます。

アドバイス

テレビ側に接続している端子をビデオや DVD レコーダー等の外部入力端子に接続し、録画することで記録した映像を保存することができます。

《再生画面》

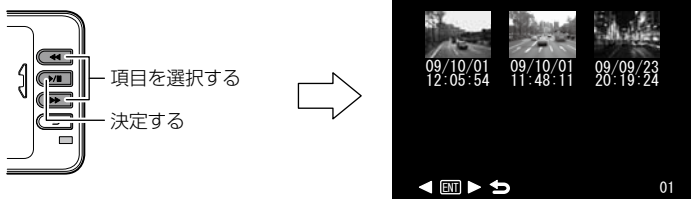


①	撮影した日時を表示。	⑦	スイッチ操作地点を表示。 ※スイッチ操作による記録時（イベントデータ）のみ。
②	撮影モードの設定を表示。（⇒ P35） L:LONG N:NORMAL	⑧	再生時間 / 総時間を表示。
③	本体【◀◀】スイッチで操作 再生時：映像を巻戻す。 巻戻し中に押すことで巻戻しの速度を切替える。（3段階） 一時停止時：映像をコマ戻しする。	⑨	オプションの状態を ON/OFF で表示。 ※未接続時は『OFF』を表示。
④	本体【▶▶/ 】スイッチで操作 再生および一時停止。	⑩	オプション接続時、速度を表示。 ※未接続時は『000km/h』を表示。
⑤	本体【▶▶▶】スイッチで操作 再生時：映像を早送りする。 早送り中に押すことで早送りの速度を切替える。（3段階） 一時停止時：映像をコマ送りする。	⑪	スイッチ操作による記録を表示。 ※スイッチ操作による記録時（イベントデータ）のみ。
⑥	本体【↶】スイッチで操作 前の画面に戻る。 長押しすることで通常表示⇄全画面表示を切替える。		

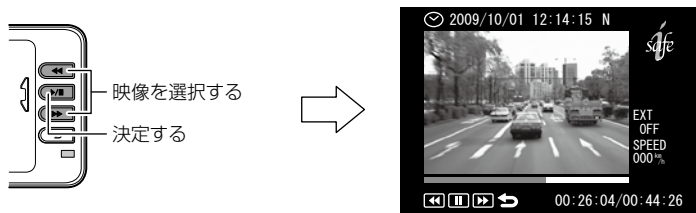
記録した映像を見る

電源の ON → OFF で記録した映像を見る（オールデータ）

- 1) メニュー画面で【◀◀】スイッチまたは【▶▶】スイッチで『オールデータ』を選択し、【▶/||】スイッチを押すと、電源の ON → OFF で記録した映像が一覧で表示されます。



- 2) 【◀◀】スイッチまたは【▶▶】スイッチで再生したい映像を選択し、【▶/||】スイッチを押すと、再生画面が表示されます。



- 3) 再生画面が表示された後、【▶/||】スイッチを押すと映像が再生されます。

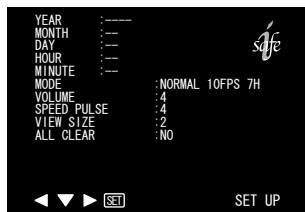
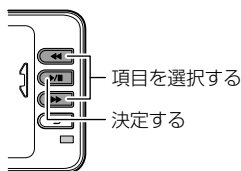
👉 アドバイス

- ・ テレビ側に接続している端子をビデオや DVD レコーダー等の外部入力端子に接続し、録画することで記録した映像を保存することができます。
- ・ 記録した映像をパソコンに直接保存することはできません。

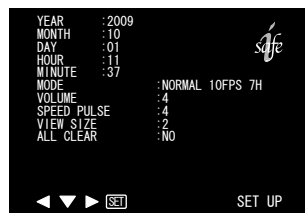
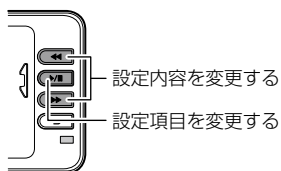
設定

設定方法

- 1) メニュー画面で【◀◀】スイッチまたは【▶▶】スイッチで『設定』を選択し、【▶/||】スイッチを押して設定画面に入ります。



- 2) 【▶/||】スイッチを押して設定項目を選択し、【◀◀】スイッチまたは【▶▶】スイッチで設定内容を変更します。



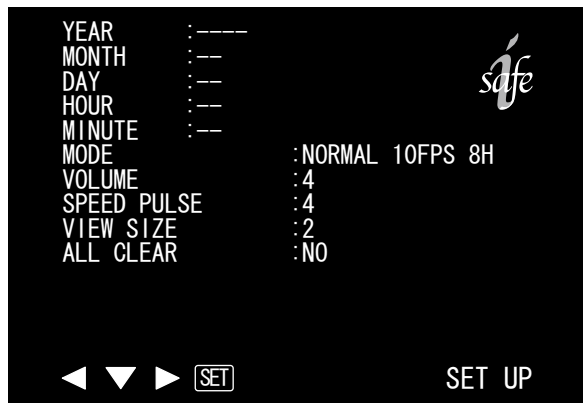
アドバイス

設定項目を『ALL CLEAR』まで移動した後、再度【▶/||】スイッチを押すと、『YEAR』に戻ります。上方向に項目を移動することはできません。

- 3) 【↵】スイッチを押すことで設定が登録されます。

設定

《設定画面》



項目		設定内容	初期設定
YEAR	年	2009 ~ 2049	----
MONTH	月	01 ~ 12	--
DAY	日	01 ~ 31	--
HOUR	時	00 ~ 23	--
MINUTE	分	00 ~ 59	--
MODE	撮影モード (⇒ P35)	LONG/NORMAL	NORMAL
VOLUME	本体ブザーの音量	OFF/1 ~ 7/MAX	4
SPEED PULSE	車速パルス設定 ※オプション接続時のみ	2/4/6/8/16/20/25	4
VIEW SIZE	画面サイズの切替え	1 ~ 5	2
ALL CLEAR	日時以外の設定と記録した 映像データを消去する	NO/YES	NO

⚠ 注意

設定のみの削除および映像データのみの削除を行うことはできません。

撮影モードの設定

撮影モードを変更することで、記録する映像のフレームレートを変更することができます。

また撮影モードを変更することにより本体に記録できる時間も変わります。

※ 使用状況（昼間の使用が多い、夜間の使用が多い等）により記録される時間は異なります。

《設定内容》

設定	画質	フレームレート	記録時間
LONG	標準	5fps	約 16 時間
NORMAL		10fps	約 8 時間

※ フレームレートとは 1 秒あたりの記録枚数を表わしており、fps (Frames Per Second) という単位で表します。数値が大きいほど映像が滑らかになります。

設定・映像データを消去する（オールクリア）

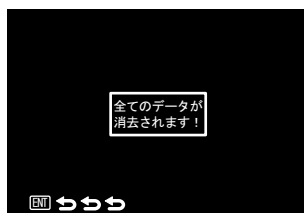
オールクリアを行うことで、日時以外の設定と記録した映像データを消去します。

クリア方法

- 1) 設定画面で『ALL CLEAR』の項目を『YES』に変更し、**[↵]** スイッチを押します。



- 2) 確認画面が表示されるので消去しても良ければ、**[◀◀]** スイッチを押し、決定します。



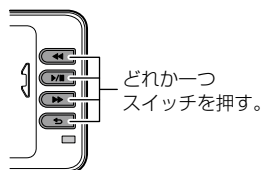
- 3) 日時以外の設定と記録した映像データが消去されます。

バックアップチェック機能

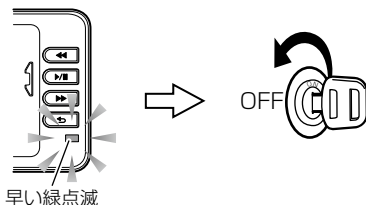
バックアップ機能が働いているか確認する為の機能です。正常に動作が完了しない場合は充電が不十分であったり、内蔵バッテリーの寿命の可能性あります。

- 1) POWER/ERROR ランプが緑点灯している時
(録画中) にスイッチを押してください。

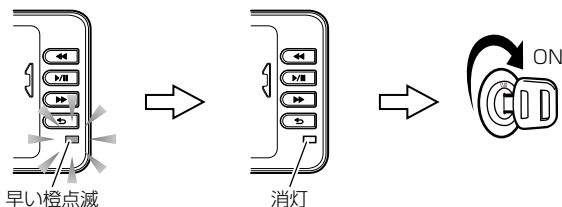
※ 4 つのスイッチのどれを押しても記録できます。



- 2) POWER/ERROR ランプが早い緑点滅を始めたら、電源を OFF にして下さい。



- 3) スイッチ操作による映像の記録が終了後（早い緑点滅終了後）、POWER/ERROR ランプが早い橙点滅を始めます。
POWER/ERROR ランプが消灯（約 90 秒）後、再度電源を ON にします。



- 4) 再起動後、『内蔵バッテリー異常』のエラーが出なければ正常です。

※ 何度もバックアップチェックを行うと内蔵バッテリーを消費しますのでご注意ください。

※ スイッチ操作による記録（イベントデータ）を 10 件保存した状態で、バックアップチェックを行うと古いデータが上書きされます。（スイッチ操作による記録を行うため）

こんなときは？

製品に異常があった場合、下記内容をご確認ください。

症 状	対応方法	参照ページ
電源が入らない	●配線を間違えていませんか？ ●ヒューズが切れていませんか？ ●接触不良、断線などしていませんか？ ●テレビ接続端子に電源コードを接続していませんか？	9,10 ページ 10 ページ 9,10 ページ 15,18 ページ
動作の確認はどうすればいいですか？	●スイッチを押して映像を記録し、その後テレビに接続し正常に映像が記録されていることを確認してください。	23,24 ページ
記録した映像を削除したいのですが？	●設定画面にて初期化することで、全映像を削除することができます。1 件ずつ削除することはできません。	35 ページ
事故の衝撃で車両バッテリーが破損しても映像を記録することはできますか？	●バックアップバッテリーを内蔵していますので、車両のバッテリーが破損しても映像を記録することができます。	36 ページ
バックアップ機能で映像が記録されない。	●内蔵バッテリーの充電が不十分であったり、内蔵バッテリーの寿命の可能性あります。	36 ページ
記録時間を変更するにはどうすればいいですか？	●本製品は撮影モードを変更することで、記録時間を変更することができます。	34 ページ
内蔵メモリの容量がいっぱいになったらどうなりますか？	●内蔵メモリの容量がいっぱいになると古い映像から上書きされていきます。	21 ページ
パソコンに保存することはできますか？	●記録した映像をパソコンに直接保存することはできません。	32 ページ

テレビでの再生について

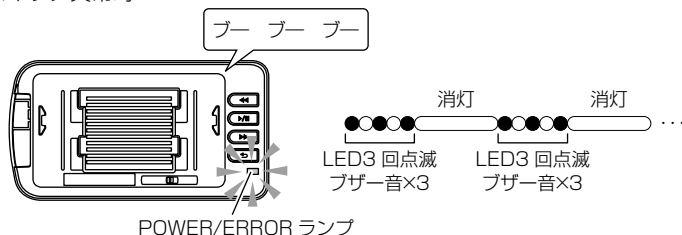
症 状	対応方法	参照ページ
『イベントデータ』に記録時間が短い（1 分未満）映像がありますが故障ですか？	●起動直後は記録前の映像が無いため、記録時間の短い映像が記録されることがありますが故障ではありません。	21 ページ
記録した映像は、事故の証拠として認められていますか？	●事故発生時の参考資料として使用することを目的とした製品です。完全な証拠としての効力を保証するものではありません。	—

付録

エラー確認表

ERROR ランプ表示、ブザー音が発生した場合、下記内容をご確認ください。

(例) スイッチ異常時



エラー項目	POWER/ERROR ランプ表示、 ブザー音内容	エラー項目別対処方法
内蔵バッテリー 異常	ブー ブー ●●●○	内蔵バッテリー異常の修復を行ってください。(⇒ P25,26)
スイッチ異常	ブー ブー ブー ●●●●●○	スイッチが押されたままになっていないことを確認をし、電源を入れなおしてください。
機器異常	ブー ×4～9 ●●●●●●●○…●○ LED4 回～9 回点減	キーを OFF にし、内蔵バッテリーを外してください。約 1 分程度おいた後、内蔵バッテリーを取付け、キーを ON にし電源を入れてください。 症状が改善されない場合は、購入された販売店へご相談下さい。
長時間連続 動作異常	ビー ビー …… ●●●○●●●○●●●○…	1 回の起動時間で最大記録時間を超えるとエラーが出ます。電源を入れなおすことでエラーが解除されます。その後、古い映像から上書きされていきます。

● : POWER/ERROR ランプ点灯 (橙) ○ : POWER/ERROR ランプ消灯

※ POWER/ERROR ランプとブザー音は同期しています。

音声、POWER / ERROR ランプ確認表

本体作動時のブザー音、POWER / ERROR ランプ点灯パターンの確認表です。

ブザー音	POWER/ERROR ランプ表示	内容
—	緑点灯	正常動作（記録中）
ピー	早い緑点滅	スイッチ操作による記録中
—	橙点灯	正常動作（再生中）
※エラーによって異なります。	橙点滅	エラー表示 エラー確認表を参照してください
—	早い橙点滅	バックアップチェック中
ピーピー	—	時刻未設定

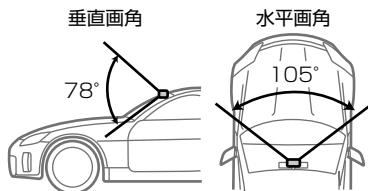
※ キー OFF 時はブザー音は鳴りません。

付録

製品仕様

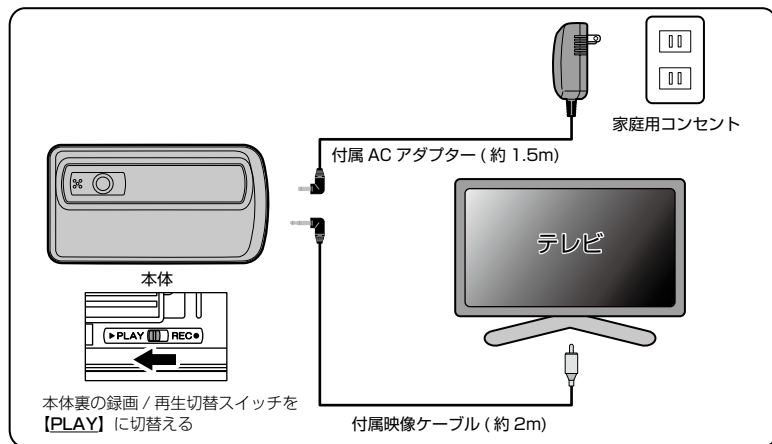
本体

電源電圧	DC12 / 24V
作動温度範囲	-10℃～60℃
本体サイズ	98 (W) × 53 (H) × 22.5 (D) / mm (突起部含まず)
有効画素数	30 万画素
撮像素子	CMOS
記録映像サイズ	320 × 240
カメラ画角	水平 105° 垂直 78°
最大記録時間	約 970 分 (撮影モードにより異なる)
記録方式	常時録画、スイッチ操作による記録
重量	95 g (バッテリー含む)



※ 本製品の外観および仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

テレビへの接続概要図



テレビ接続時の操作方法

・メニュー画面



・映像データ選択画面



・再生画面



・設定画面



・取付方向確認画面

4つのスイッチのどれか1つを押すことでメニュー画面に戻ります。

付録

設定内容一覧

項目		設定内容	初期設定
YEAR	年	2009 ~ 2049	----
MONTH	月	01 ~ 12	--
DAY	日	01 ~ 31	--
HOUR	時	00 ~ 23	--
MINUTE	分	00 ~ 59	--
MODE	撮影モード (⇒ P35)	LONG/NORMAL	NORMAL
VOLUME	本体ブザーの音量	OFF/1 ~ 7/MAX	4
SPEED PULSE	車速パルス設定 ※オプション接続時のみ	2/4/6/8/16/20/25	4
VIEW SIZE	画面サイズの切替え	1 ~ 5	2
ALL CLEAR	日時以外の設定と記録した 映像データを消去する	NO/YES	NO

⚠ 注意

設定のみの削除および映像データのみの削除を行うことはできません。